

ちょっと知りたい

市役所の仕事

障害援護課

保護係
援護係
庶務係

Q 主な仕事は？

障害者福祉計画の推進や身体障害者・知的障害者の福祉施策の推進、戦傷病者・戦没者遺族の援護、生活保護制度の運用、福祉団体や民生委員、保護司会、更生保護婦人会などの事務を担当しています。

Q 障害者福祉計画とはどんな計画ですか？

保健、医療、福祉をはじめとする障害者施策の基本計画です。これに先立ち、建物や道路などハード面のバリア（障壁）の解

消をめざした「一人にやさしい街づくり計画」を策定しており、この2つの計画で行政の各分野における障害者施策を進めています。

Q 具体的には？

ハード面では、JR安城駅前デッキにエレベーターとスロープを、駅構内にエスカレーターとエレベーターを設置しました。また、モデル地区内の市役所、市民会館、文化センターなどの出入口や通路の段差を解消したり、多目的トイレに改修したり

して、障害者や高齢者にやさしい公共施設への改善を進めています。

ソフト面では、

地域に密着した福祉活動を行うため、各中学校区単位に地区社会福祉協議会が

答える人

障害援護課長 太田 盛人



設立され、住民の皆さんによる主体的な福祉のまちづくりへの取り組みが行われています。さらに、ホームヘルパー、ショートステイ、デイサービスなどの在宅福祉サービスの充実や社会参加と自立のための各種施策を推進しています。



▲JR安城駅のエレベーター

Q 今後の福祉の見通しは？

福祉への関心と理解が高まり、より充実に向けて進んでいると考えます。こうした中で、利用する福祉サービスを自ら決めていただくことができるよう、社会福祉基礎構造改革として福祉各法が改正され、平成15年4月から本格的に実施されます。これは、福祉サービスの利用の制度化、サービスの質の向上、社会福祉事業の充実・活性化をめざし、利用者本位の福祉サービスを確立しようとするものです。市でも、市民の皆さんが主役となつて、地域社会全体で支え合う福祉のまちづくりをめざし、様々な施策を進めていきたいと思ひますので、積極的な参画とご協力をお願いします。

野草歳時記

129



ジュズダマ せんごく 〔川穀 イネ科〕



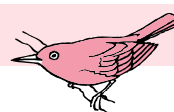
川沿いの湿った土地に群生する雑草です。種子は、とても堅く、ねずみ色の光沢があります。これを糸でつなぐと立派な数珠のようになるので、子どもたちはジュズダマでネックレスを作って遊びます。

リウマチ、神経痛、肩こりに、乾燥した根をせんじて飲みます。また、消炎、利尿、鎮痛、むくみに、干して砕いた種子をせんじて飲みます。

写真・文／三井亨氏＜城ヶ入町・安城市文化財保護委員＞

安城の野鳥

152



非常に珍しいタカで、愛知県では9回記録があるだけです。市内では昭和61年4月2日から23日まで、えさであるネズミや小鳥を追いかけて飛来したときに、根崎町で観察されています。ノスリによく似ていますが、白っぽい体と白い尾羽根の先端に太く黒い帯があることで見分けられます。

足のすねの部分に羽毛があることからこの名があります。

写真・文／杉山時雄氏
＜桜井町・西三河野鳥の会会員＞



ケアシノスリ ー タカ科ー